

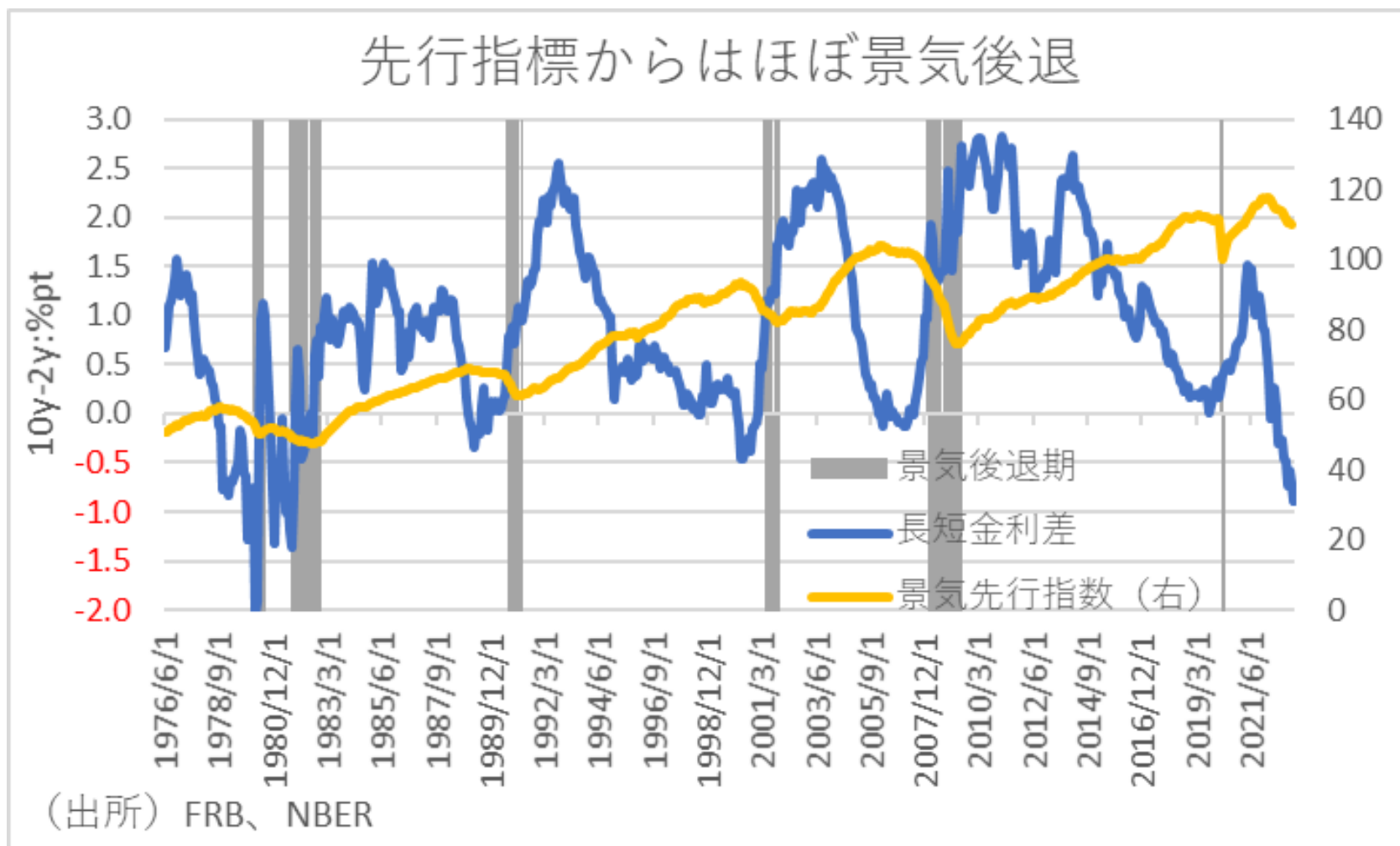


ETFコンファレンス資料 ～国内外経済と日本銀行の動向～

(株)第一生命経済研究所
経済調査部 首席エコノミスト
永濱 利廣

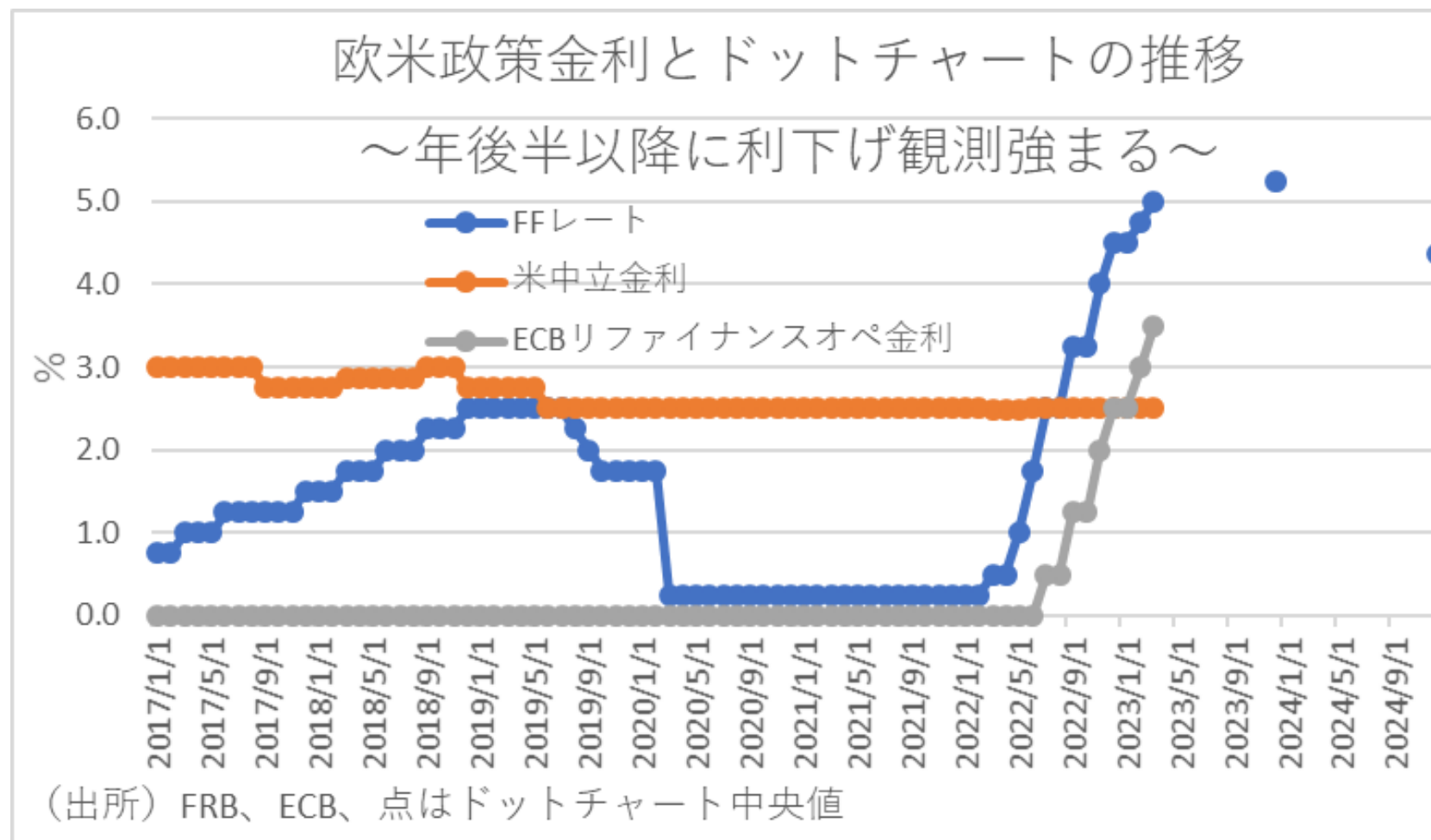
1. 欧米金融システム不安の行方

～米長短金利差シグナルは正しかった可能性～

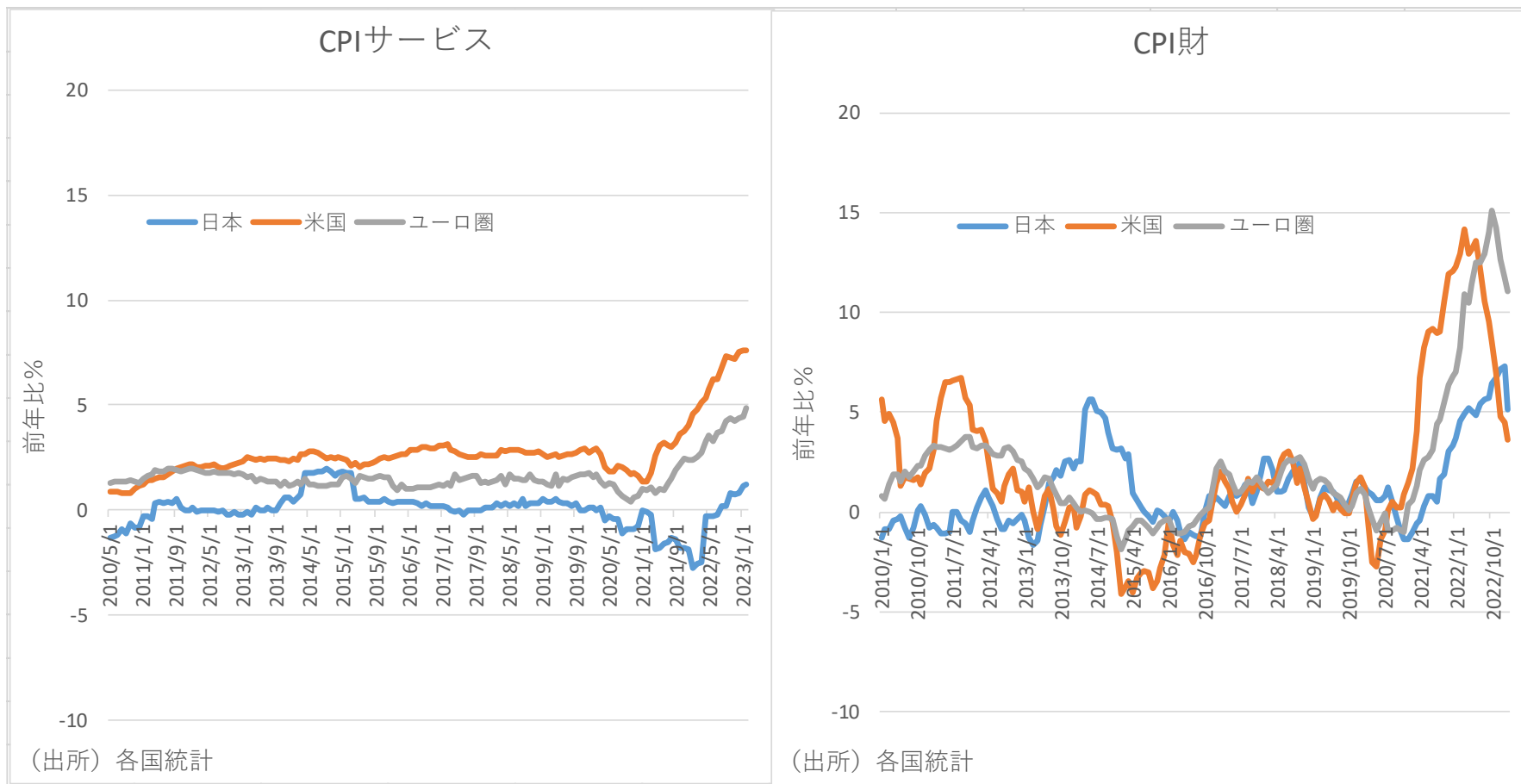


2. 欧米の金融政策・インフレ・景気

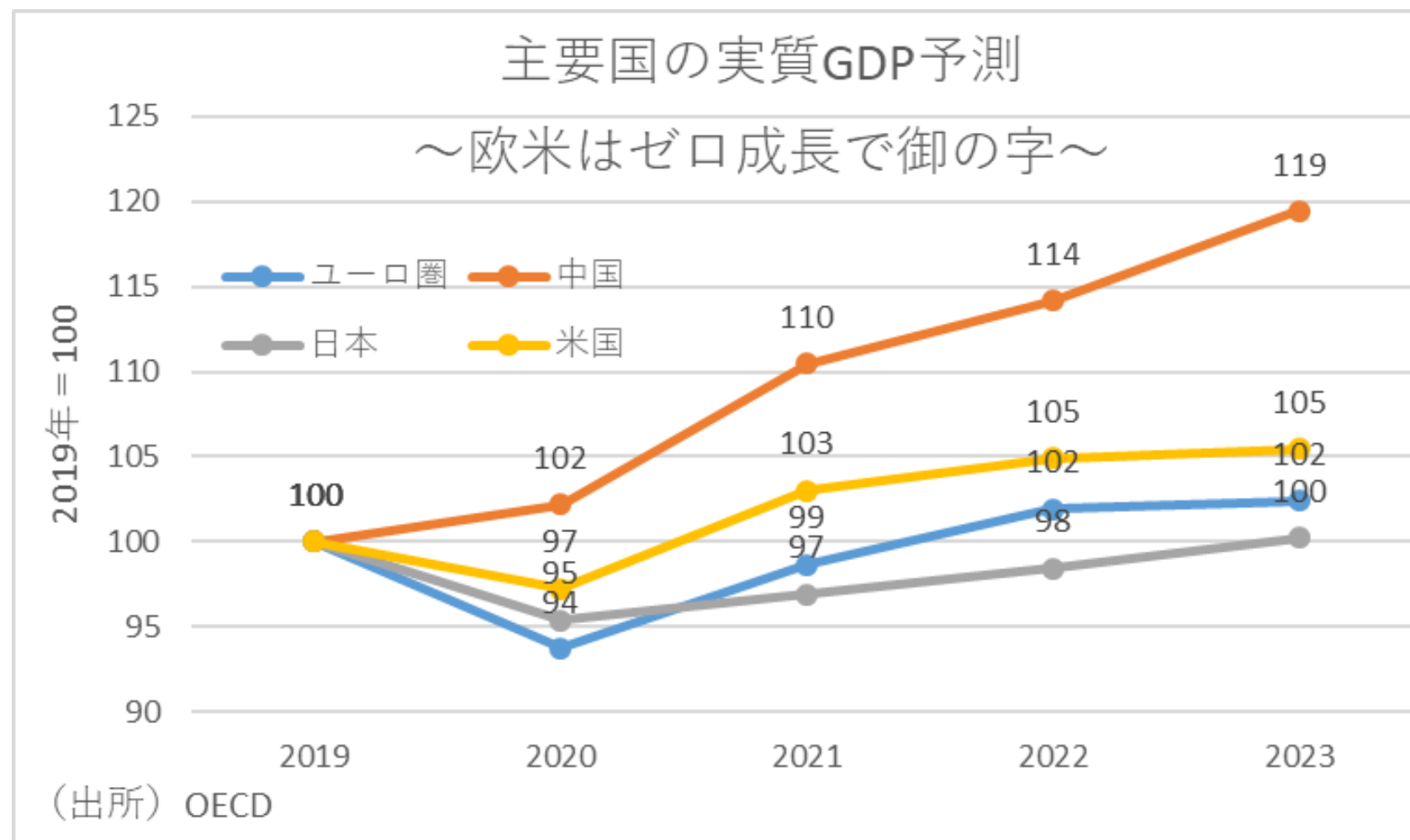
(1) 利上げはいずれも5月打ち止めか



(2) カギ握るサービスインフレ

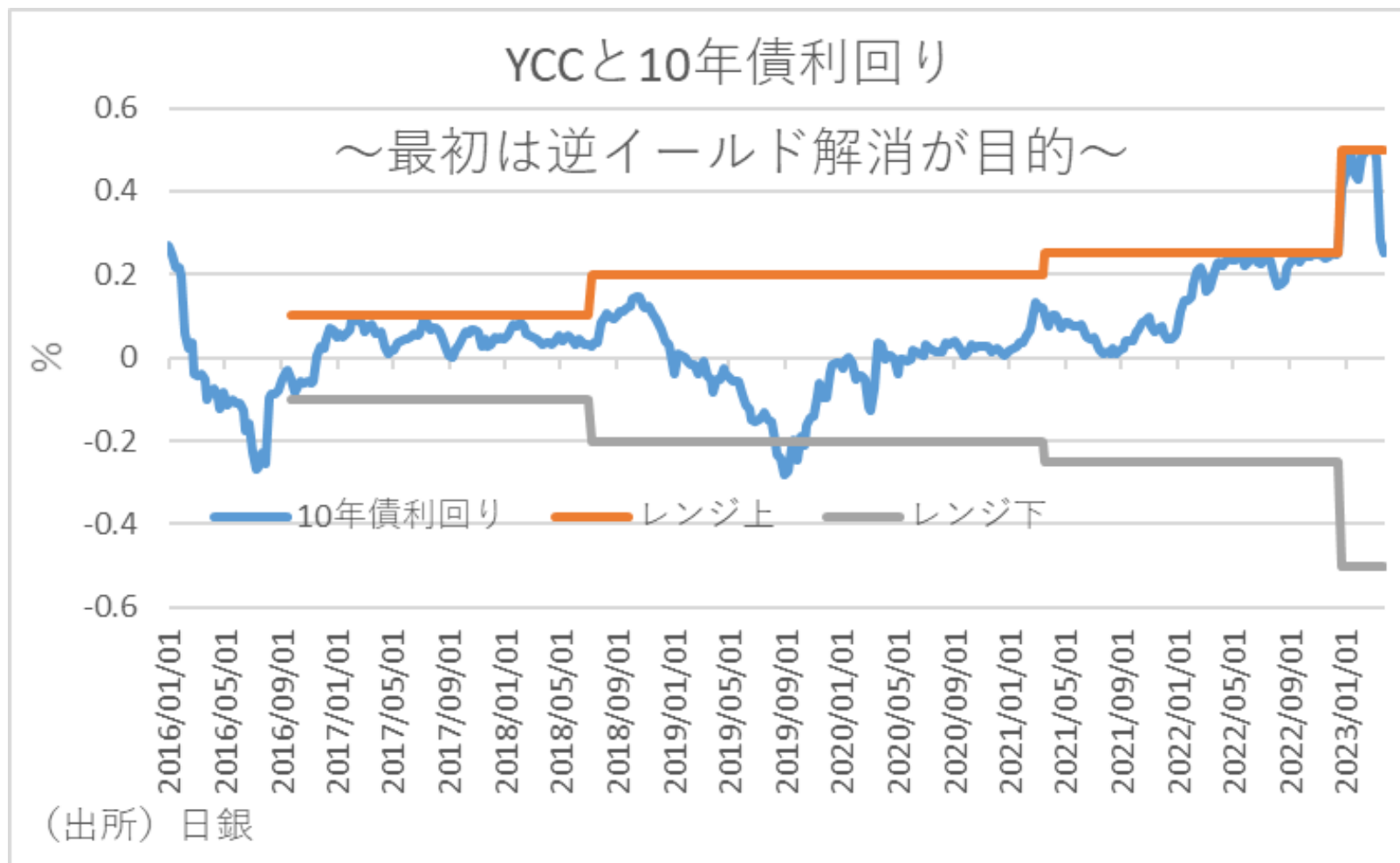


(3)これから出てくる金融引き締まりの影響

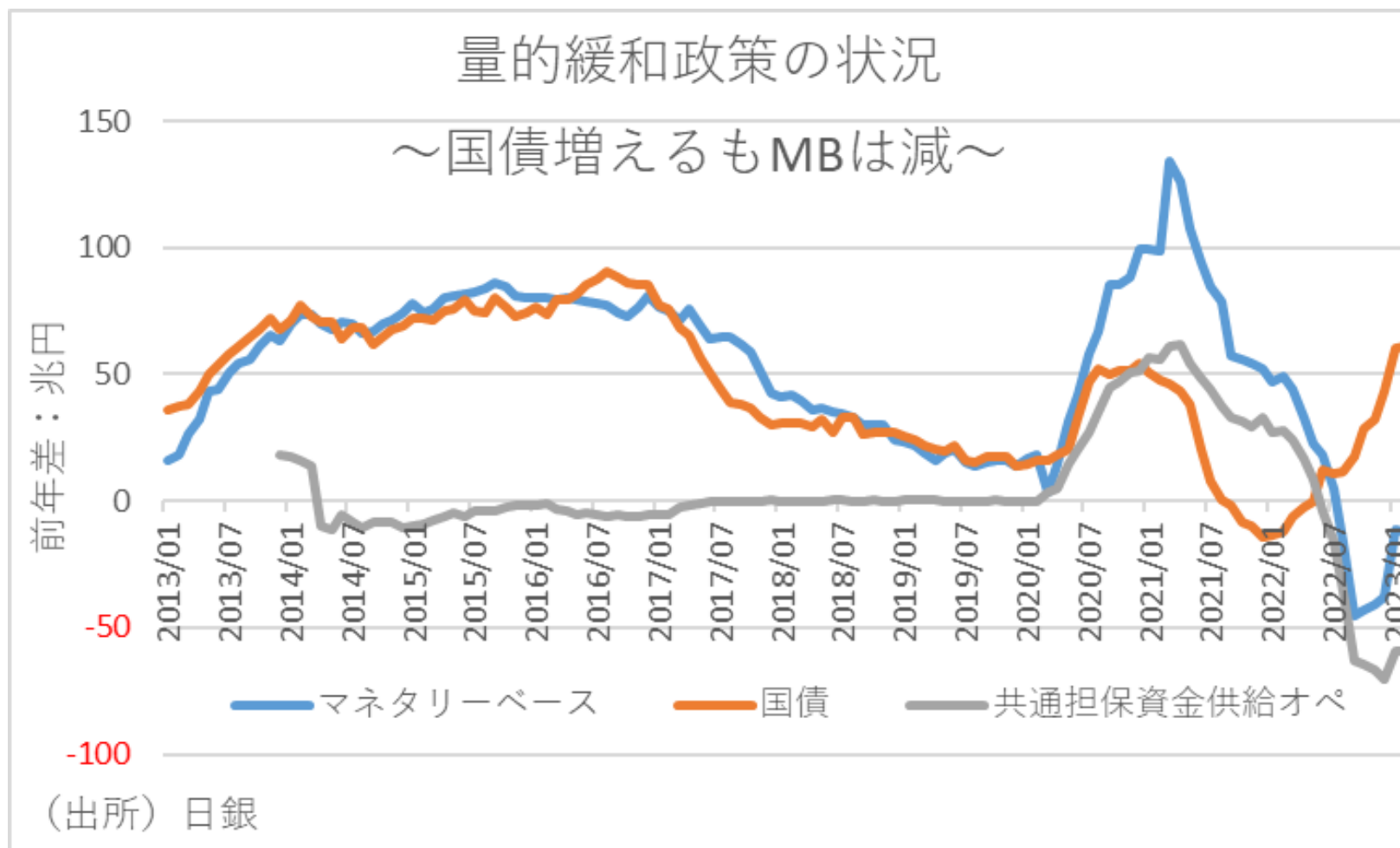


2. リフレでも反リフレでもない植田日銀

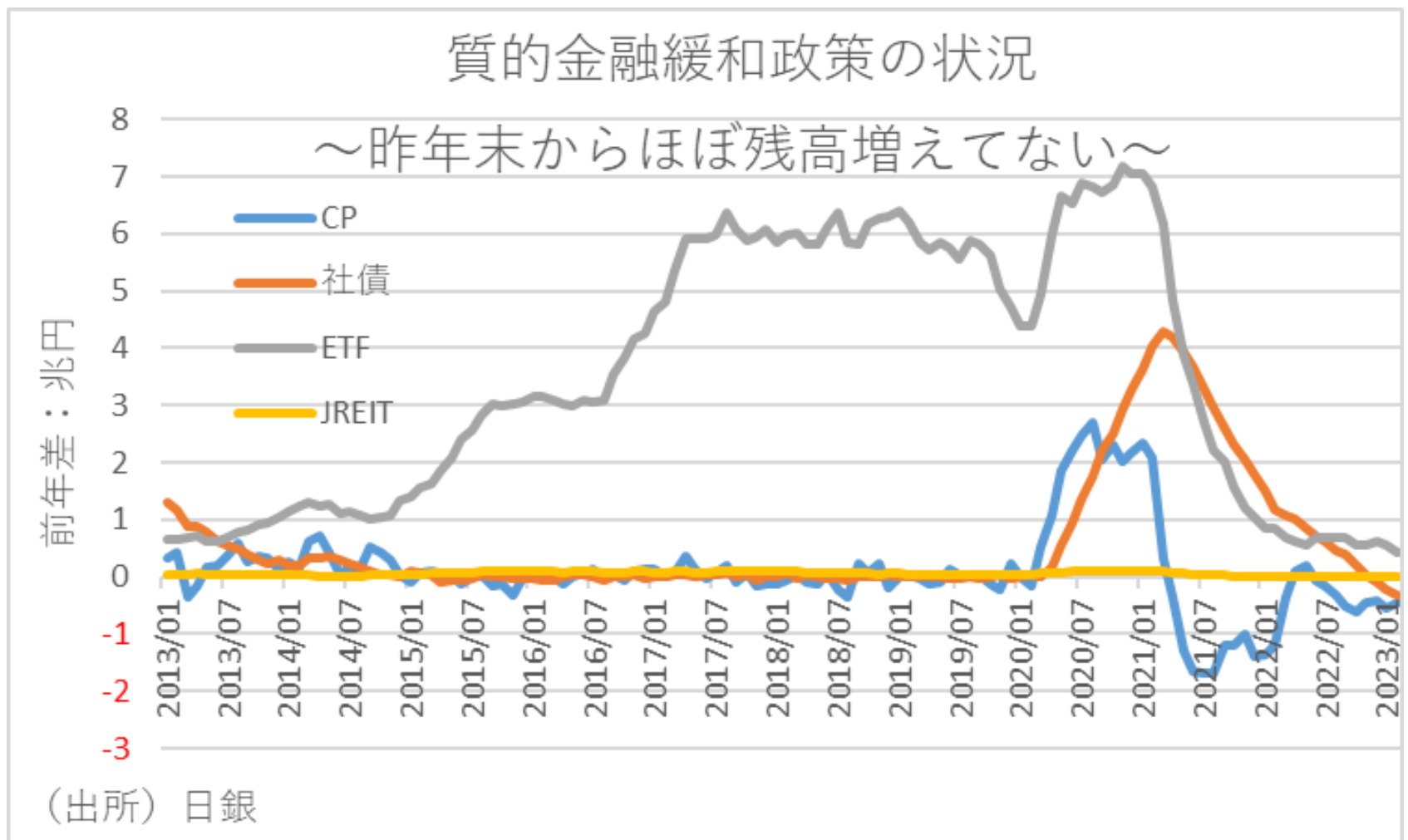
(1) YCC修正・解除はタイミングが重要



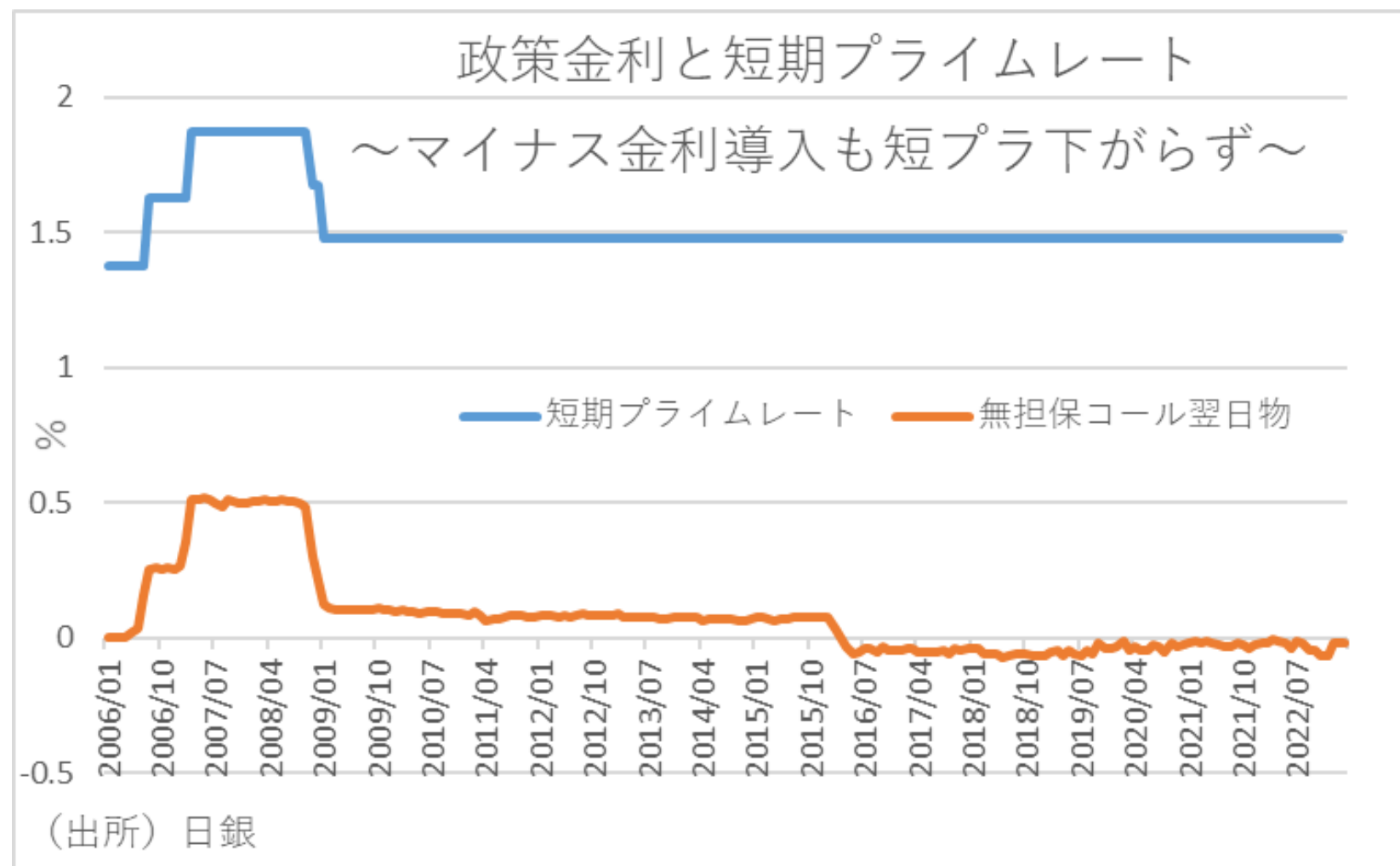
(2) 重要な量的緩和andフォワードガイダンスの行方



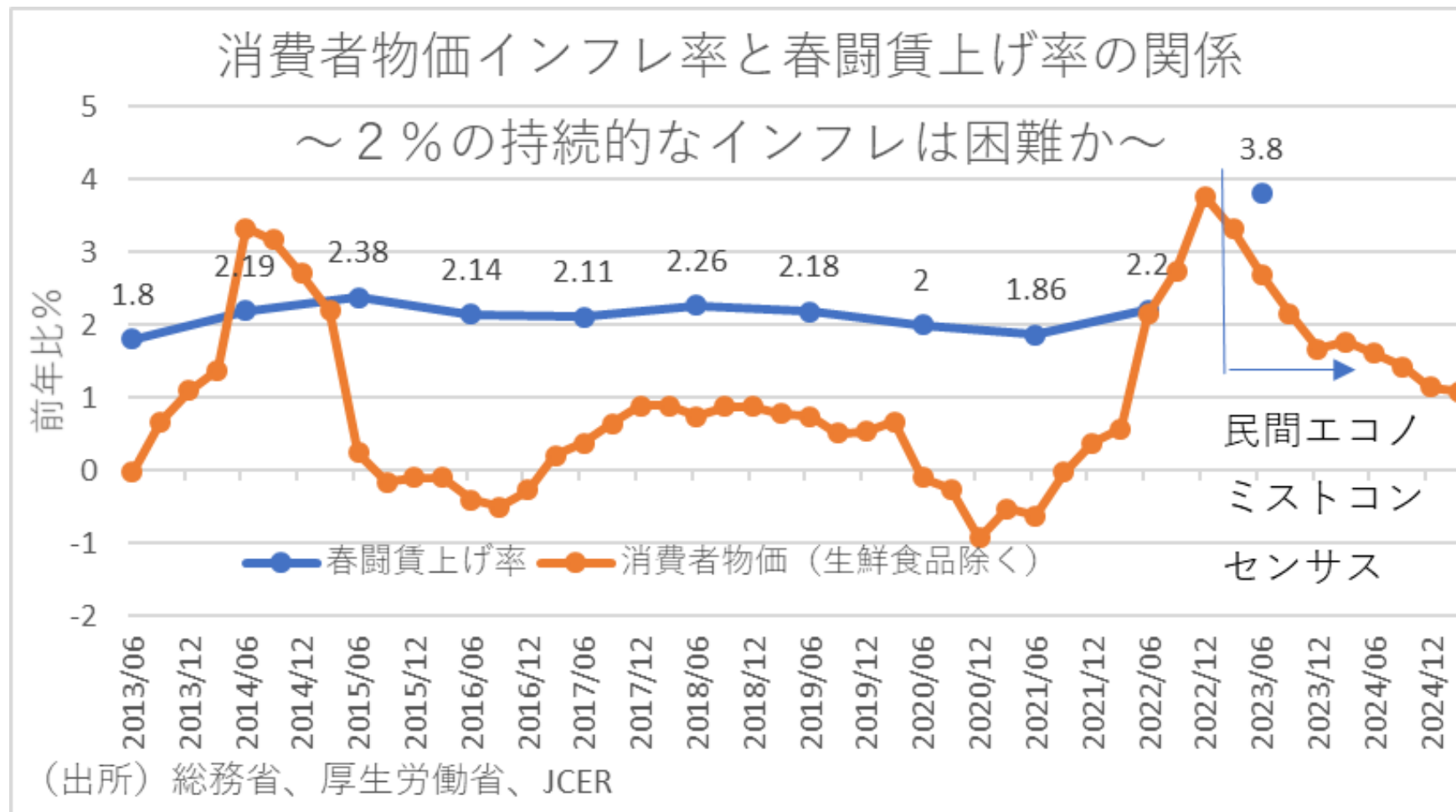
(3)ETFは将来的にGPIFや個人に譲渡か



(4) 最大のリスクは拙速な利上げ

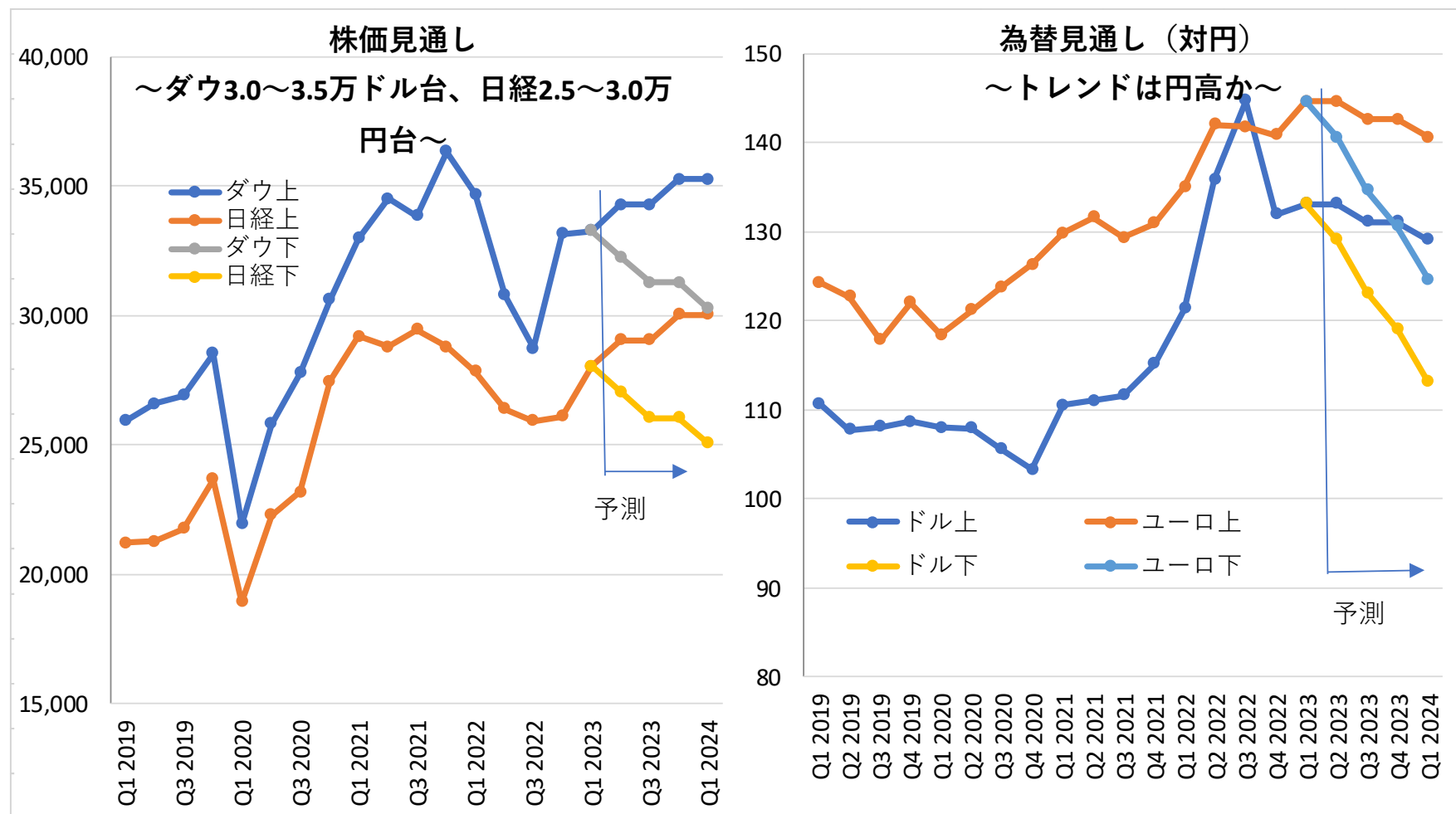


3. 日本の物価・賃金・景気 ～30年ぶりの賃上げも持続は困難か～



4. 株価、為替の行方

～株は夏場まで踊り場、秋以降上昇か～





本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。

作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針等と常に整合的であるとは限りません。